

一般質問の概要

平成 28 年第 4 回 二宮町議会定例会

○12 月 7 日（水）午前 9 時 30 分～

（前田憲一郎、二宮節子、露木佳代 各議員）

○12 月 8 日（木）午前 9 時 30 分～

（渡辺訓任、小笠原陶子、根岸ゆき子、一石洋子 各議員）

※両日とも 2 番目以降の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。

※議員の質問時間は、1 件につき 40 分、2 件以上は 60 分です。ただし町執行部側の答弁時間を含みません。

No	質問予定議員	質問概要
1	前田憲一郎 議員	<p>小中学校の学校水泳と町営プールの在り方について問う （放映件名：学校水泳と町営プールの在り方について問う）</p> <p>現行の小中学校の学習指導要領の体育分野では、水泳の授業に対し、小学校 1 年生から中学校 2 年生までは全員に履修させること。中学校 3 年生においては、陸上競技・水泳・ダンスの中から一以上を選択して履修できるようにすることと定められています。ただし、適切な水泳場の確保が困難な場合にはこれを扱わないことができるが、水泳の事故防止に関する心得については、必ず取り上げること。中学校においては、保健分野の応急手当との関連を図ることとなっている。今年度の学校水泳の実施日数等の実態を見ると、学習指導要領に則った水泳の授業が展開されていないのではないかと疑問に思います。観光施設として設置されていた袖が浦プールは利用者減に伴い経費を削減するということもあり休止したが、温水プールを使い学校水泳を実施したことによりかかった経費を見てみると、一般会計全体の中での経費削減に繋がっていないのではないかと思います。また、昨年まで袖が浦プールを利用していた団体や地域の方々から休止になったことで夏の水遊び場が近くに無くなり困った再開してほしいという声も上がっています。そこで、学校水泳と町営プールの在り方について伺います。</p> <p>1. 二宮町の小中学校の水泳の授業は学習指導要領に定められている事項を習熟できる内容の授業が展開されているのか伺います。</p> <p>2. 二宮町の小中学校には学校プールがないわけで、温水プールまで移動するための経費及び移動時間の削減を考慮し、学習指導要領に定められた水泳の内容を児童生徒達に習熟させる授業を展開していただくうえで袖が浦プールを二宮小学校・二宮中学校、山西プールを山西小学校・二宮西中学校、温水プールを一色小学校の学校プールとしての位置づけができないものか伺います。</p> <p>3. 袖が浦プールは今年度休止したわけだが、もう一度、町営プールすべてについて再検討し、来年度は再開することができないものか伺います。</p>

2	二宮節子 議員	<p>子育て支援の強化について (放映件名：子育て支援の強化について)</p> <p>改正児童福祉法や改正母子保健法の成立により市町村では更なる子育て支援の強化が求められています。そこで以下3点伺います。</p> <p>1. フィンランドの子育て支援施設「ネウボラ」を参考にしていることから、日本版ネウボラと言われ、妊娠から子育て期まで切れ目なくワンストップ（1カ所）で総合的な相談を行う「子育て世代包括支援センター」が地域の事情を踏まえながら平成32年度までに全国展開を目指すこととされています。又、ワンストップ拠点には保健師、ソーシャルワーカー等配置して細やかな支援を行い、子育て世帯の「安心感」を醸成していきますが、今後の町が考える「子育て世代包括支援センター」の内容について伺います。</p> <p>①開設時期と人員体制について。 ②メンバーはどのような方を考えているのか。 ③産前産後のサポートについてどのような考えを持っているのか。 ④全ての妊産婦の状況を継続的に、把握し必要に応じ支援プランを作成することで切れ目のない支援が図られますが、支援プランの考え方は。 ⑤支援対象者の評価や支援内容に関するガイドライン策定はできているのか。</p> <p>2. 神奈川県では母子健康アプリを提供しています。これは電子母子手帳としてアプリを通して、町の乳幼児健診や親子向けイベント情報などを受け取れるシステムです。しかし県との連携がなければこのシステムは使用できません。そこで導入の考えを伺います。</p> <p>3. 町で行なうイベントの際、おむつ替え、授乳スペースは重要な支援であると思い2点伺います。</p> <p>①今後、施設整備の考えはあるのか。 ②「施設マップ」などアプリを通してのサービス提供を行う考えは。</p>
---	------------	--

3	露木佳代 議員 (3件)	<p>財源確保や補助金、民間活用をどう検討し、進めていくのか また神奈川大学との産学連携の進捗状況は (放映件名：財源確保や民間・大学等の活用・連携は)</p> <p>今年の11月に視察した茨城県の境町は、平成26年の3月に新町長が就任した。前年度6万5千円だったふるさと納税の寄付額をその年に3,142万円まで伸ばし、就任2年目の平成27年には8億5,974万円まで一気に増額させた。</p> <p>また就任直後に町長が代表取締役として設立した株式会社で太陽光パネルを公共施設に設置し、売電で年間2,500万円を生み出している。さらに新規事業のほとんどが、国や県の補助金はもちろん、スポンサー制度や、提携などで、民間を非常にうまく活用して展開している。</p> <p>スピード感を持ち、財源がないなら増やす、無駄を省くことを徹底して進め、年々増加していた借金を減らし、財源を増やしているのが境町の現状である。</p> <p>二宮町は、これまでさまざまな場面で「財源がない」「予算が限られている」と言っているが、財源確保の施策を検討しているのだろうか。財源を生み出す「発想・意欲・実行力」を今こそ持つべきではないかと考え、民間活用と産学連携も含め、以下について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 限られた財源と言うが、財源を作り出す、生み出す可能性を検討しているのか。 2. 事業をするにあたり、補助金の活用はどう検討されているのか。 3. 民間活用の現状と、今後の予定は。 4. 今年の3月に「包括的な提携に関する協定」を神奈川大学と締結しているが、進捗状況と今後の予定は。 5. 財源確保、民間活用、産学連携などを発想力豊かに推進するための職員配置は。 <p>病後児保育と小中学校のエアコン設置について (放映件名：病後児保育と小中学校のエアコン設置は)</p> <p>村田町長就任から2年、一貫して「子育て世代の定住促進」をうたっており、いくつかの重点施策が挙げられる中で、「小児医療費助成の拡充」や「乳幼児の一時預かりの充実」などが実施されてきた。また、お母さんたちの念願だった「学童の民間委託」が4月から実施されることになり、期待を持っている町民も多いと思われる。大きな前進と評価したい。</p> <p>さて平成28年度と平成29年度の重点施策には、「病後児保育の検討」という言葉が2年連続であげられており、町長が選挙前に出したリーフレットにも「病後児保育の実施」とある。そこで、病後児保育についての進捗状況を伺いたい。</p> <p>また、予算編成方針には、学習環境や教育環境の充実、整備、という項目が、3年間重点施策として挙げられている。教室へのエアコン設置を求める6月議会での渡辺議員の質問と、9月議会での前田議員の質問、そして対する答弁をふまえ、改めて考えを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 病後児保育はどのように検討されているのか。現状と今後は。 2. 小中学校のエアコン設置は、健康被害が出る前に実施されたい。子育て支援・定住促進を大きく推進する事業だと考えるがいかがか。
---	--------------------	---

3	<p>露木佳代 議員 (3件)</p>	<p>公共施設のオンライン予約の進捗状況は？ (放映件名：公共施設のオンライン進捗状況は)</p> <p>現在、公共施設を利用する際の予約は、その場に足を運ばないとできない施設が多い。定期的にサークル活動をしている方や、どうしてもその日に予約を取りたいという場合には、月初めの開館時間に並んで予約を取るということもあって、子連れの方や、高齢の方、仕事をされている方は大変な苦勞を強いられている。</p> <p>公共施設再配置・町有地有効活用等検討委員会で配布された、「実施計画策定方針の概要」で、「各公共施設の方針」の中の貸館、スポーツ施設、文化施設の欄に「予約方法等を検討する」という言葉がある。村田町長公約であった公共施設のオンライン予約システムの導入のことなのか。</p> <p>さて、施設ではないが、一時預かり事業は町立百合が丘保育園と南口の子育てサロンで実施されており、事前に町役場に来て申し込みをしなければならず、急な用事等で使いづらい実情もあり、改善を望む声がある。</p> <p>そこで以下について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オンライン予約システム導入について 2. 一時預かり事業をさらに利用しやすく改善することについて
4	<p>渡辺訓任 議員 (3件)</p>	<p>新しい地域公共交通の方向性 (放映件名：地域公共交通の方向性)</p> <p>町は、来年度からの地域公共交通（デマンドタクシーとコミュニティバス）について方向性を示した。その中で、来年10月にはデマンドタクシーは休止、コミュニティバスについては見直し運行を開始するとしている。さらに、この秋には町内3カ所で説明会を開催、コミバス見直しの方向性について意見が交換された。当初の駅北口出発・到着の周回案に加えて、駅を中心とした八の字ルート第2案も出されたが、ルートについては関係住民からはさらに要望が出された。</p> <p>地域公共交通の整備は、高齢者を含めて町の誰に対しても、移動の自由を保障するために重要である。来年10月のスタートのためには来年当初にルートを決定する予定となっているが、新ルート、ダイヤ等コミバスの見直し運行について進捗状況を確認する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最新のコミバス見直しのスケジュールおよび進捗状況は。 2. ルート、ダイヤ設定、運行時間などはどうなるか。説明会で紹介された2つの案でカバーされなかった地区や、二宮西中学校生の通学時の利便性などは勘案されたか。 3. 利用者数の目標はどう設定しているか。 4. 車輦の選定・運行方法は。 5. 利用料金はどう設定するか。 6. 「乗り支える仕組み」とはどのようなとりくみを考えているのか。

4	渡辺訓任 議員 (3件)	<p>保育所待機児童の解消を求める (放映件名：保育所待機児童の解消)</p> <p>今年4月に駅前ナーサリーが設置され、二宮町では保育所の待機児が一旦はゼロになった。その後、残念ながら待機児が再び生まれているという状況である。働く保護者をバックアップする施策が多くある中で、保育所の整備は子育て支援に関する最重要課題の一つであり、子ども子育て支援事業計画にも「保育サービスの量の確保と質の向上」がうたわれている。今後の待機児解消に向けて、現状と見通しについて問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 二宮町の保育所の定員、受入れ数は。駅前ナーサリー設置前と比べてどう変化したか。 2. 現在の保育所待機児童の状況はどうか。 3. 今後の子ども子育て支援事業計画にある支援給付見込みと提供体制について見直しをどう考えるか。 <hr/> <p>介護保険利用者が受けるサービスと負担の変更について (放映件名：介護保険利用者のサービスと負担)</p> <p>介護保険法の改定に伴い、町は来年3月から「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」(以下「総合事業」という)を開始する計画を進めている。多様なサービスが提供されるとするものの、要支援1・2の一部の利用者が介護給付から外され、地域支援事業に移される仕組みのため、利用者から戸惑いの声が上がっている。昨年12月にも総合事業および地域包括ケアシステムについて問うたが、来年3月に予定される総合事業開始にあたって、改めて、その後の進捗状況と今後の方策について確認をする。また、11月25日の社会保障審議会介護保険部会で介護保険利用者負担についての見直しが提案されたと報道されている。この点について、町での影響をどのように考えるか問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 総合事業の実施で利用者のサービスの質・量に影響は無いか。 2. 来年度重点施策でうたう「地域組織の枠組みの見直し」は地域包括ケアシステムの枠組みに影響しないか。 3. 介護保険利用者の負担割合が上がると影響を受ける、または自己負担限度額の引き上げが影響を受ける加入者数はどのようなものか。
---	--------------------	---

5	小笠原陶子 議員	<p>高齢者になっても、生きがいを持って自分らしく住み続けられる二宮町をつくるために</p> <p>(放映件名：高齢者が自分らしく住み続けられるために)</p> <p>1. 町は高齢者保健福祉計画と第6期介護保険計画の基本理念に、「自立で安心、地域でいきいきとふれあうまちづくり」としているが、少子高齢化が進み、景気も停滞しているなかで不安が先に立つ。以下の項目について伺う。</p> <p>①町は地域で高齢者を支えるために、社会福祉協議会とともに町内13か所にミニデイサービスを進めてきた。当初は保健センター1か所での実施でしたが、住民ニーズに合わせここまで利用をふやしてきた。しかし10月からの説明会で29年度3月いっぱいまで廃止し、「通いの場」を作る。地域では寝耳に水で、制度改正までの時間が短く、関係者は困惑している。各地域での受け皿づくり、人の育成が急務だがどのように進めていくのかその方策を伺う。</p> <p>2. 二宮町は高齢化が進んでいる。特に大型開発住宅地である、富士見が丘、百合が丘は顕著である。今月、一人暮らしの方のお宅の火災や孤立死の発見の遅れが再び起きてしまった。このような事故を防ぐために、今まで以上の見守り体制の強化が望まれる。</p> <p>①緊急通報システムの利用者拡大を望むが、現状と対策を伺う。</p> <p>②新聞配達業者や郵便局など見守りのための協定をしているがそれらが機能しているのか。</p> <p>③消防署は火災予防のために、介護事業者とともに一人暮らしの方や高齢者の暖房器具のアドバイスなど進めてきていると思うがどういう状況か。</p> <p>3. 「地域支え合いマップ」を使った見守り活動の推進について支援が必要な高齢者が増えている中、地区での見守り活動は、民生児童委員や一部の福祉関係者に限られがちであり、それ以外の住民にはなかなか広がりにくい状況である。そこで、住宅地図を活用した「地域支え合いマップ」を作成し見守り活動を推進したらどうか。そのねらいは、</p> <p>①地区内の見守り支援が必要な方々の実態を共有する。</p> <p>②見守りへの関心や意識を高める。</p> <p>③関係者間の連携を図っていく。</p> <p>の3点である。二宮町ではすでに、要介護者の情報を防災の観点で把握しているが、もっと有機的に活用すべきと考えるがどうか。</p>
---	-------------	---

6	<p>根岸ゆき子 議員</p>	<p>公共施設再配置・町有地有効活用について町の考えを問う (放映件名：公共施設の町有地検討の進め方について)</p> <p>公共施設再配置・町有地有効活用等検討委員会は今年3月に設置され、公開では3回の委員会が開催された。私が傍聴した際、議論の進め方に困惑している印象を受けた。そのことを踏まえ今一度町の考えを問う。</p> <p>1. 平成29年度に実施計画を策定することについて。 ・町庁舎は役場職員で、学校教育施設は教育委員会が中心で検討を進める。ということが6名の検討委員会に示された。一旦検討委員会の手を離れたと捉えている。別途検討する2種類については実施計画にどのようなスケジュールを経てどのような形で盛り込まれるのか。</p> <p>2. 学校教育施設は教育委員会が中心に検討を進めることについて。 ・3回目の検討委員会で教育委員会が中心に検討することになった経緯と理由を伺う。 ・基本方針では、延床面積に対して約26%の建物の更新しかできない計算だ、と見解を出しているが、教育施設は延床面積の合計に対して51.4%を占めている。延べ床面積が絶対条件ではないことをふまえても5つの学校を今のまま維持することが困難であろうことはなんとなく理解しているものの、減らすのか、何を守りたいのか、教育委員会には何を伝えたいかで検討に入ってもらえるのか不安が募る。町部局が教育委員会に提示している条件があればお聞きしたい。</p> <p>3. マーケットサウンディングについて、シンボル事業の提案はその効果だと理解している。 ・シンボル事業が抽出されたが、民間活力導入の期待は持てるのか。 ・シンボル事業方針に施設の予約方法の統一があるが、マーケットサウンディングと絡んだ有効な施策になり得るのか。 ・今までは東京大学果樹園跡地の本格活用を31年度からとしているが、もう少し慎重にみていく姿勢と解釈して宜しいか。</p> <p>4. 公共施設再配置・町有地有効活用策の計画作りあるいは具体化していく過程について。 ・町民のボトムアップという町長の姿勢はどの場面で生かされるのか。具体的場面をあるだけ挙げていただきたい。 ・共にまちづくりをすすめる観点から議会の動き方に対し期待することがあるとすればそれは何か。</p>
---	---------------------	--

7	一石 洋子 議員	<p>学校と福祉の連携について (放映件名：学校と福祉の連携について)</p> <p>子どもたちの生活環境が著しく変化し、従来の学校教育、福祉施策を超えた新しい教育と福祉の連携が求められる。さらに、子どもたちに如何に関わるかが地域社会を創出する大きな鍵であるとする。二宮町の子どもたちを育成するための取り組みを問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの生活実態調査について 2. 教育と福祉を繋ぐスクールソーシャルワーカーとの協力体制について 3. 福祉の視点を持った食と学習支援の取り組みについて <hr/> <p>二宮町の住民が真の豊かさを発見する小学校区の自治の取り組みについて (放映件名：真の豊かさに繋がる住民自治の姿)</p> <p>二宮町総合戦略の第一の基本目標である「安心なくらしを守り住み続けられる地域をつくる」ために若年層の転出、空き家の増加、コミュニティ衰退など地域が抱えるさまざまな課題に取り組むとして、一色小学校区をモデル地域と選定する「安心して住み続けられる地域再生事業」が国の地方創生の交付金を得て進められている。地域の方々、神奈川県住宅供給公社、町で構成する「一色小学校区地域再生協議会」が平成28年5月28日に設置された。今後の二宮町の豊かな住民自治に繋がる重要な岐路であるとする。町のヴィジョンと関わりを問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一色小学校区地域再生協議会への行政の関わりについて 2. 小学校区の食と福祉のプラットフォームについて
---	-------------	---